

ATTENTION

多くの人が抱えるお金の悩み…解決する手段は？



©びとファイナンシャルサービス株式会社

これらの悩みは、多くの人が抱えている悩みです。しかし、なかなか解決の糸口が見つからないのが実状です。そしてこれらの悩みは、日本人のびとにとってかなり深刻です。なぜなら、これらの悩みの中に、日本人のお金が増えない元凶があるからです。日本の資産形成の環境は、先進国のみならず新興国まで入れても、かなり劣化する状況にあるとって過言ではありません。それは2つの面から言えます。一つは、ゼロ金利で利息がもらえない状況が20年以上も続いていること、株は上がらず、損することが多いこと、いわば国自体の問題です。もう一つは、正しい資産形成をする導き役がないことです。導き役どころか、善良な市民からむしりとろうとする輩ばかりです。リスクが非常に高いのに、見た目がよく食いつきそうな商品や同じ内容で手数料が安い商品があるのに、高い商品を勧めたりして、真っ当にやっているつもりでも増えないようになっているところに大きな問題があります。その根は、お客様の利益を考えず、自分たちだけの利益を考える金融機関の姿勢にあります。真にお客様の利益だけを考える導き役の存在が大いに求められるゆえんです。

COLUMN

相場は必ず落ち着いてくる

このところ日米株式市場とも、落ち着いて来ました。しかし、2月初めには、ニューヨークダウが2月5日665ドル、6日には1175ドルも下がりました。日経平均もそのとき同じように下がりました。その後もしばらく変動が大きい展開が続きました。このように、市場は、ある日突然大きく振れ、その振れはしばらく続きます。それを自然現象と見ると、もっとわかりやすいでしょう。突然振り子が一方に大きく振れると、反対方向に大きく振れ戻り、それが段々と収束してくるという現象です。今回の大きな変動を見ていると、それがぴったりとあてはまります。

このような大きな変動がいつ起きるか、いつ収束するかは誰にもわかりませんが、必ず起き、そして収束していきます。そのとき、投資家はどのように投資に向き合うかによって、その帰趨は大きく変わります。たとえば上述の通り東証上場の投信が、一夜で96%の元本が吹っ飛んだり、信用取引で担保の証拠金を全部取られる強制決済もこのようなときに必ず起きます。こういう被害を受ける人は、目先の利益を狙う人たちです。いわばこれを先ほどの振り子にたとえると、始めに大きく振れたときにすぐに切られることを意味します。

ところが長期投資で臨んでいれば、振り子の振れが次第に小さくなるのを、じっくりと待てるのです。そしていまでは何事もなかったように無傷で前へ進んでいきます。

MARKET

(4月末)	(3月末比)
日経平均 22,467.87円	+1,013.57円 (+4.7%)
NYダウ 24,163.15ドル	+60.04ドル (+0.2%)
米ドル 109.35円	+3.07円 (+2.9%)

今月の言葉：

人生を楽しむ巧みな運び方というものがある。わたしはそれを他の人びとの2倍も楽しんでいる。というのは、楽しむことの度合いは、それに対するわれわれの念の入れ方が多いか少ないかにかかっているからだ。

-モンテ・ニユ「エセー」

人生100年時代のお金まわりの話

当ニューズレター4月号は「人生100年時代に向けて、どう生きるか」をテーマにお話しましたが、今月も同じテーマでお話しましょう。おそらくこれから、この言葉は大変大事なキーワードになっていくでしょう。この言葉には、100歳まで長生きできるという大変明るいイメージがある一方で、100歳までお金は持つだろうかといった、立ち足かかる壁のようなものを感じるのです。

「100歳まで本当に生きられるの？」と半信半疑でいてはいけません。いま先進国の寿命は1日5時間、10年で2,3年というスピードで伸び続け、2045年には、平均寿命が100歳に到達すると予測されているのです。カリフォルニア大学の研究によれば、2007年に生まれた日本人の半数は107歳まで生きるとのことです。人生100年といえば、引退モードに入る60歳からは40年、大人になった20歳から働いた年数に等しい長さなのです！

老後頼りにする年金は、先進国では早くも67歳、68歳からの支給開始に向けて進行しています。日本も68歳支給開始案が俎上に上りつつあります。また受け取る年金がその時点の現役世代の所得に対してどの程度の割合を示す「所得代替率」は、2014年時点で63%でしたが、30年後には楽観的シナリオでも50%、もっとも悲観的なシナリオでは39%まで落ちる見通しです。現在の年金額でも生活費をカバーできない中で、これからさらに厳しくなるのです。

こうした条件下で、老後30年も40年も、お金が持つだろうかと儚い生活を続けるのは大変厳しいものがあります。当然

ながら働くことが選択肢となりますが、生きるために肉体に鞭打って働くというのは辛いものがあります。一方で、お金が十分にあり、いつまでも心配がないという状況を作れば、まさに「バラ色の老後」です。先の見通しが見える安心感を持つことが、人生100年時代には必要なのです。そうすることができれば、それが心身の健康を後押しするという相乗効果も発揮します。

年金保険料を払っていないという若者が多いと聞きますが、これは論外で、人生100年無年金では、背筋が寒くなります。国は、将来公的年金だけでは不十分となることを見越して、NISA、つみたてNISA、ジュニアNISA、iDeCoなどの非課税制度を導入し、自助努力による老後資金作りをバックアップしていますが、これらは当然のこととして、フルに利用しなくてははいけません。いざ老後になったとき、お金が十分でないということになれば、それはまさに自己責任です。誰も助けてはくれないといまから自覚しておく必要があります。

そして、できるだけ早くお金を貯め、正しく資産運用をすることを始めるべきです。時間が力を発揮し、必ず後押ししてくれます。そういういい習慣を付ければ、老後は全く心配ありません。むしろこんなに増えて、どう使おうというくらいになるでしょう。いま10歳の子が毎年100万円積み立てて、6%で運用すると60歳の時には、なんと資産額は3億円を優に越えます！

SEMINAR

大幅刷新！びとうファイナンシャルサービス代表、尾藤峰男が教える『こうすればお金の運用で必ず成功する！セミナー』

大切なお金の運用で、本当のことを知るのには大変むずかしいです。預金金利はゼロ、国の年金だけでは足りず、金融機関も利益追求に走っていて、自分自身でしっかりお金を運用する必要がありますますます高まっています。

このセミナーで、他では絶対に聞けない「お金の運用で必ず成功する方法」を学びましょう。40年の投資経験と資産運用で頂点のグローバル資格を持ち、金融機関とのしがらみが全くない資産運用アドバイザー、尾藤峰男だから語れる「お金の運用で必ず成功する方法」を伝授します！6名様限定です。お早めにお申し込みください！

日時：2018年5月26日(土)15:00~17:00

場所：東京都千代田区有楽町1-12-1 新有楽町ビル2F リファレンス会議室

JR有楽町駅 中央西口/日比谷口より1分

東京メトロ有楽町線有楽町駅 D2出口より連絡

東京メトロ日比谷線・千代田線日比谷駅 A6出口より3分

都営三田線日比谷駅 B1またはB2出口より3分

参加費：1,000円(当日支払い)

メールまたは電話にて「5月26日セミナー参加希望」として、ご氏名、ご年齢、ご連絡先をお知らせください。
メール：info@bfsc.jp Tel：03-6721-8386



びとうファイナンシャルサービス
代表 尾藤 峰男

- どうしたら株式投資で最も成功するか
- 本当に正しいお金の運用法とは
- もっとも効率的にお金を増やす方法とは
- 国際分散投資はどうやったらいいか
- よい金融商品の選び方
- 証券会社や銀行にだまされないために
- お金に困らない老後の安心を確保するために
- NISAやiDeCo(個人型確定拠出年金)の活用法
- 安心してお金の相談をできる場所はどこか

びとうファイナンシャルサービス 公式HP

<http://www.bfsc.jp>

あなたの資産運用を成功に導くメルマガ！

お申し込みは <http://www.bfsc.jp/>

発行者：びとうファイナンシャルサービス
代表取締役 尾藤峰男

電話：03-6721-8386
携帯：070-5567-3311

FAX: 050-3156-1072
電子メール：info@bfsc.jp